

平成 26 年 6 月 24 日

## 「道路の老朽化対策」パネル展の開催 ～道路インフラ老朽化対策の推進に向けて～

高度成長期に集中的に整備された多くの道路インフラが老朽化し、一斉に補修や更新を行う必要性が急激に高まるものと見込まれています。

しかし、国、地方とも厳しい財政状況にあるため、これらのメンテナンスを確実に実施していくことが大きな課題となっています。

この度、「愛媛県道路メンテナンス会議」では、道路インフラの老朽化対策推進に向けて、道路施設の現状や課題等を広く皆様にご理解いただきたく、「道路の老朽化対策」パネル展を開催しますのでお知らせします。

### 記

#### 1. 開催場所及び開催時期

- ・道の駅「天空の郷さんさん」 平成 26 年 7 月 8 日(火)～7 月 18 日(金)
- ・道の駅「今治湯ノ浦温泉」 平成 26 年 7 月 7 日(月)～7 月 18 日(金)
- ・道の駅「みしょうMIC」 平成 26 年 7 月 7 日(月)～7 月 18 日(金)

#### 2. 展示パネルの主な内容

- ・道路の老朽化の実態
- ・道路の老朽化を防ぐ取組（補修、点検、技術開発）
- ・道路の老朽化を防ぐための通行の適正化

#### 3. 主催：愛媛県道路メンテナンス会議 (構成機関)

国土交通省四国地方整備局

松山河川国道事務所、大洲河川国道事務所

愛媛県、愛媛県内 20 市町

西日本高速道路株式会社四国支社、本州四国連絡高速道路株式会社

本施策は、四国圏広域地方計画「NO. 5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

国土交通省 四国地方整備局

松山河川国道事務所、大洲河川国道事務所

愛媛県 土木部

### 問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所 ◎：主たる問い合わせ先

TEL：089-972-0034（代表）

◎ 副所長（道路）：黒木 賢二郎（内線：205）

道路管理第二課長：山本 健司（内線：441）

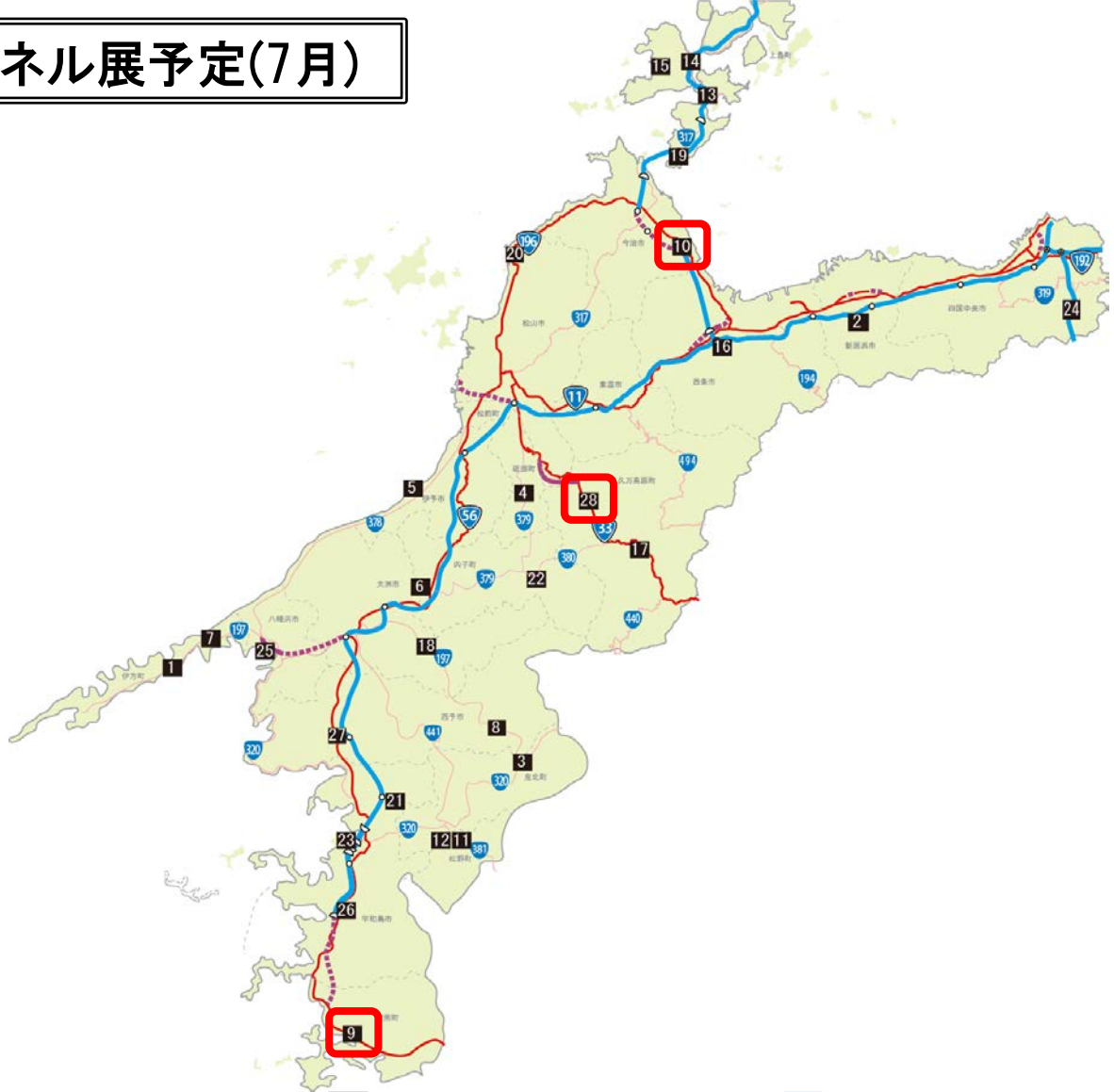
愛媛県 土木部 道路都市局 道路維持課

TEL：089-941-2111（代表）

主幹：白石 昌史（内線：4437）

担当係長：相原 博紀（内線：4443）

# パネル展予定(7月)



1 瀬戸農業公園

2 マイントピア別子

3 日吉夢産地

4 ひろた

5 ふたみ

6 内子フレッシュパークからり

7 伊方きらら館

8 きなはい屋しろかわ

9 みしょうMIC

10 今治湯ノ浦温泉

11 虹の森公園まつの

12 広見森の三角ぼうし

13 伯方S・Cパーク

14 今治市多々羅しまなみ公園

15 しまなみの駅御島

16 小松オアシス

17 みかわ

18 清流の里ひじかわ

19 よしうみいきいき館

20 風早の郷風和里

21 みま

22 小田の郷せせらぎ

23 うわじま きさいや広場

24 霧の森

25 八幡浜みなと

26 津島やすらぎの里

27 どんぶり館

28 天空の郷さんさん

# 道路の老朽化対策パネル展

## 展示パネルの一例

社会資本整備審議会道路分科会建議（平成26年4月14日）

### —最後の警告— 「今すぐ本格的な メンテナンスに舵を切れ」



平成19年8月 ミネアポリス市  
ミンシッピ川橋梁（出典：MN/DOT）

平成23年9月撮影  
首都高速1号羽田線 東品川枝橋

高度経済成長期に集中的に整備した橋梁やトンネルが今後、急速に高齢化し、10年後には建設後50年経過する橋梁が4割以上になると見込まれており、本格的なメンテナンスに舵を切らなければ、重大事故の危険性が高まります。

定期点検、診断、措置、記録のメンテナンスサイクルを確実に進めることで、安全な通行の確保を図ると共に、これに必要な予算、人、技術力の確保が必要となっています。

愛媛県道路メンテナンス会議

### 管理者別の道路延長と 橋梁及びトンネル数

日本では、道路橋は全国に約70万橋、  
道路トンネルは約1万本  
全国約70万橋の橋梁のうち、  
7割以上となる約50万橋が市町村道



【日本の道路種別と延長割合】

道路種別	延長割合
高速自動車国道	約4.7%
自動車国道	約1.8%
市町村道	約93.5%

【道路種別別橋梁数】

道路種別	橋梁数
市町村道	約70万橋
自動車国道	約10万橋
高速自動車国道	約1万橋

【道路種別別トンネル数】

道路種別	トンネル数
市町村道	約1万本
自動車国道	約1,000本
高速自動車国道	約100本

愛媛県道路メンテナンス会議

### 道路の老朽化対策に向けた 大型車両の通行の適正化の取組

- 0.3%の過積載の大型車両が、道路橋の劣化に与える影響の約9割
- 国民の財産を極めて大きく傷める過積載の悪質な違反者には厳罰化を、適正に道路を利用して物流を支えている方には道路をより使いやすくする、メリハリの効いた取組を実施

過積載の大型車両が道路橋に与える影響

- 国等が実施した実験結果によると、道路橋のPC床版の劣化に与える影響については、重さの1.2乗に比例
- 軸重20トン車が道路橋に与える影響は、軸重10トン車の約4,000台に相当



【図 道路橋の劣化に与える影響】

通行台数	劣化への影響度
過積載大型車両 (0.3%)	91.5%
適守車両 (99.7%)	8.5%

愛媛県道路メンテナンス会議

### ■ 道路の老朽化の実態

## 湿気が大敵 人知れず日陰で錆が進行

日陰にある鋼材は、太陽が当たらないため、雨水で湿気を帯びやすく、錆やすい環境にあります。特に湿度状態が高く続く場合には、急速に錆が進行し、写真に示すような損傷に進展します。仁淀川橋をこれからも長く使っていくため、予算を確保し、これらの損傷を補修するほか、錆を防止するための塗替え塗装を計画的に実施します。



高知県高岡郡いのちの国道33号 仁淀川橋  
管理所 土佐国道事務所  
築84年

愛媛県道路メンテナンス会議

### ■ 道路の老朽化を防ぐ取組（補修）

## 老朽化のスピードは 予防保全で抑える。

橋の周囲は湿気がこもりやすいため、錆びやすい環境にあります。写真の塗替えり替えは、錆びやすい部分だけ、耐久性の高い塗料を行うことで、コストを抑えつつ、老朽化のスピードをやわらげ、橋の長寿命化を図ろうとするものです。山河内第二橋はこれからの長寿化に向けて、引換塗替えの機会に努めます。



愛媛県松山市 国道33号 山河内第二橋  
管理所 徳島河川国道事務所  
築43年

愛媛県道路メンテナンス会議

### ■ 道路の老朽化を防ぐ取組み（技術開発）

## 道路メンテナンス 橋を守る技術

つづら川跨道橋は国道33号新道橋を跨ぐ橋で、地域の生活道路としての役割を担っています。写真は、生活道路を通行止めすることなく、ロープで移動しながら、橋梁の点検を行っている状況です。高所作業技術を有した点検技術者が、生活道路の確保と橋梁の安全を支えています。



愛媛県松山市 国道33号 つづら川跨道橋  
管理所 松山河川国道事務所

愛媛県道路メンテナンス会議